

# 新 人 研 修 講 座 概 要

## <講師>

- 特 別 講 義** : 田上 明 会長  
武内 昶篤 副会長  
平岡 久仁子 先生 (帝京平成大学)  
山下 律子 先生 (山下社労士行政書士合同事務所)  
柴田 礼子 先生 (順天堂大学医学部附属練馬病院)  
小嶋 章吾 先生 (国際医療福祉大学)  
その他、現任ソーシャルワーカー
- 組 織 理 解** : 樋口 昌彦 先生 (至誠会第二病院)  
仲谷 恵美子 先生 (森山記念病院)
- 個 別 援 助 技 術** : 小松 美智子 先生 (武蔵野大学)

新人研修は内容としては特別講義・組織理解・個別援助技術の3部構成です。  
研修体系としては、通年・集中の2コースに分かれています。

## <内容>

**特別講義**(全6回)は、通年・集中両方を参加者全員に受講して頂きます。新人ソーシャルワーカーとして是非知っておいて頂きたい内容として、様々な視点と領域から各テーマを設定しています。

**組織理解**は、組織の中でのソーシャルワーカーの位置づけや果たすべき役割、関係機関との協働などを中心に組織の中で役立つ基本的内容を講義していきます。

**個別援助技術**は、日常の相談業務を振り返りながら、面接をいかにに行い、どのように進めていけば良いのか、相談者の抱えている本当の問題を発見し、理解するためにどうしたら良いのか・・・といった日常の相談業務に役立てられる内容の講義をしていきます。

## <研修体系(通年コース・集中コース)>

通年コースは、概ね月2回(スケジュール上1または3回の場合有)実施します。特別講義6回、組織理解6回、個別援助技術8回の全20回開催予定です。一年間、じっくりソーシャルワーカーとしての基礎を学べるコースです。

集中コースは、通年コースでは回数が多いので業務上参加が難しいという方のために開催します。特別講義6回は変わりませんが、組織理解と個別援助技術を各1日でコンパクトにまとめて学べるようにし、全8回開催予定としたものです。

## ～昨年度、新人研修受講生の声より～

◆1年間の研修を終え、同じ位の経験年数のソーシャルワーカーのみなさんと、日々どんなことが大変で悩んでいるのかを共有する機会を持てたことがとてもよかった。今の業務に直結することも多く、勉強になりました。

◆ソーシャルワーカーとして、社会人として、職場内にいるだけでは分からないことを、この研修の場で解決できる場面が何度もありました。ソーシャルワーカーとしての病院内でのあり方を学ぶことができました。

◆日々の業務に追われる中で、ソーシャルワークを学ぶ機会を持てたことは、自分の業務を振り返り、支援の意図を再確認できた貴重な時間でした。これからも学び続けたいと思いました。

◆この研修を通して、ソーシャルワークのおもしろさを改めて感じました。可能であればこのままずっとソーシャルワーカーを続けたいと思いました。また、いろんな人とディスカッションする楽しさも分かりました。職場では、なかなか自分の意見が言えなかったけど、何故だか研修ではいろんなことを話すことができました。とても有意義な研修でした。

◆各週、仕事終わりに通うのは大変だったけど、他の病院のソーシャルワーカーとも仲良くなることができました。ソーシャルワーカーとして技術を学ぶことはもちろんだが、同期がいなかったのも、同じような悩みを共有することができました。